医療費の増嵩にあえぐ 国民健康保険

国保の『医療費総額』を通知

昭和五十三年度の国保医療費は、年間平均被保険者数三、九三〇人で、三億六千七百九五万六千円を使いました。

五十四年度へ入ってからは、被保険者数が減少しているにも拘らず、医療費の支払いだけは月毎に伸び続けております。

昨年度月額平均支払医療費（総医療費の七割額負担分）は二千百五六万円余だったものが、今年の四月分からは二千二百一八万円余となり、六二万円余もの多額な支払いとなっております。

医療費は「必要な時に、必要なだけ使う」ものであり、特に岩室村の人が無駄な医療費を使っているとは思えませんが、今年の一月から六月迄の医療費総額と受診件数を、国保加入の全世帯へ九月上旬、お知らせする作業を進めております。

わが家の医療費を確かめると共に、健康で明るいくらしの一考にともなれば幸いです。

中国製花火「魔術弾」は危険です

中国製玩具花火「魔術弾」による事故がふえています。

この花火は県の有害玩具に指定されています。

お子さんをおもちのご家庭では充分注意して下さい。

今月の不用犬引き取り日

今月の不用犬引き取り日は九月五日（水）です。

引き取りについては、前日までに住民福祉課まで連絡し、当日、午前九時三十分までに引き取り料一、〇〇〇円と印かんを持参のうえつれてきてください。

みんなで健康づくりを〝糖尿病を防ぐ〟

◎糖尿病は全身の病気

すい臓から出るインスリンというホルモンの作用不足によっておこる、全身的な代謝機能の異常による病気です。糖をはじめ、たん白質や、脂質の代謝障害により、さまざまな自覚症状があらわれます。そして放置すると多くの全身的な合併症をひきおこします。

◎糖尿病を防ぐには

一、毎日の食事（食べかた）が最も重要です！

すい臓に負担をかけ、インスリンを使いすぎる食生活をしていませんか。

――食べすぎ、飲みすぎ、かたよった食事、でんぷん・砂糖質のとりすぎ、不規則な食べ方などは、インスリンをムダづかいします。

二、つぎに運動です。

すこし汗ばむ程度に体を動かすこと――仕事でも運動でも毎日続けることです。食後三〇分～六〇分経ってからの運動は、インスリンの節約になります。

三、発病のきっかけとなる肥満、感染、妊娠、外傷、精神的ストレスなどに注意する。遺伝的素因のある人はとくに気をつけたいものです。

◎尿検査で糖が出た！

心配ですが落ち着いてください。すぐに糖尿病とは決められません。尿に糖の出る症状や病気はいくつかあります。糖尿病の診断の決め手は「ブドウ糖負荷試験」なのです。

◎ブドウ糖負荷試験とは

早朝空腹時にブドウ糖を飲み血液中の糖分の変化を調べます。これによって、糖尿病型か、前糖尿病状態にあるとか、尿糖は出たが今いとこころ心配ないとか――を知ることができます。

◎糖尿病検診のすすめ

ブドウ糖負荷試験を含めた検診が九月中旬に、役場で実施されます。案内のあった人は受けましょう。

（文責　保健婦）

年金ニュース　特例的な物価スライド 国民年金法が改正されました

さきごろ、国民年金が改正されましたので、そのおもな内容をお知らせします。

国民年金では、昭和四十八年から全国消費者物価指数が、前年度に比べて五パーセントを超えて上下した場合、年金額はその率に応じて増減できる〝物価スライド制〟を取り入れ、毎年これにしたがい年金額の改正を実施してきました。ところが、昭和五十三年度の上昇率は、三・四パーセントであったため、法律上では年金額に物価スライドされないことになっていますが、今年度は経済的な諸情勢を考慮して、三・四パーセントの上昇でも特例的に〝物価スライド〟を適用することになりました。

これにより、拠出年金（老令年金や通算老令年金をはじめ、障害、母子、準母子、遺児、寡婦の各年金）は、すべて三・四パーセント引き上げられ、昨年と同様に七月分から改定されました。

ただし、老令年金の「五年年金」は、七月に物価スライドの改定をした後に、八月分から老令福祉年金とのからみで、さらに、月額一、〇〇〇円アップされます。

また、年金額が物価スライドしたことに伴い、保険料額は昭和五十五年四月分から、一か月三、七七〇円となります。

一方の福祉年金は、おおむね二一パーセントという大幅な改善となり昨年と同様に八月分から改定されました。

また、公的年金との併給限度額が年間三七万円から四一万円に引き上げられ、さらに本人所得制限についても緩和されました。

敬老会は10月に

みんなそろって 元気な顔で出席下さい

長寿を祝福し今年も現代の基礎を築いてくださった諸先輩をお迎えして，敬意を表したいと，次の催を計画いたしましたのでお誘い合せの上ご来場くださるようご案内申し上げます。

間瀬地区　10月1日（月）　間瀬小学校

岩室・和納地区　10月13日（土）　岩室中学校

（明治42年12月31日以前に生れた方）

このように計画いたしております。

岩室村合併20周年記念 村内一周老人招待事業

合併20周年の記念すべき，意義深い年を迎え，記念事業の一環として，村内一周老人招待事業を計画いたしました。

現在の岩室村の基礎を築いて下さった諸先輩と共に合併以来20年間における郷土の変貌ぶりを，目で確かめながら村内を巡り，静閑荘で中食をとり，参加者持ち寄りの余興などで，楽しい一日を過ごしたいという計画です。

日程につきましては9月の老人福祉週間にちなみ，9月の11日より9月21日の土曜，日曜，祝日，月曜日を除き，8日間の期間に，地域別に分けて実施いたします。

細部については後日ご連絡いたしますので，お誘い合せの上，ご参加ください。

老人健康診査を実施します

老人福祉法による老人健康診査を実施いたします。

受診される方は配布された記録票と保険証・老人受給者証を持参して，なるべく村内のお医者さんで受診して下さい。

都合により村外の医療機関で受診される方は，検診依頼の手続きの必要がありますので，一週間以上前に役場の住民福祉課へ申出下さい。

◎診査期間

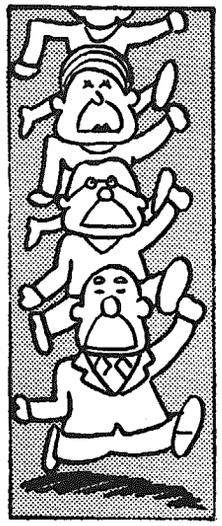
9月17日（月）から9月28日（金）まで

土曜日の午後及び日曜日，祝日は除く

◎該当者

昭和55年3月31日現在で満65才以上の方。

老人福祉週間



〝生きがい〟づくりは みんなの手で

九月十五日は「敬老の日」、また、この日から一週間は「老人福祉週間」です。

お年寄りは、これまで永年にわたって社会に貢献してこられました。長寿を心からお祝いするとともに、今年も今日までつちかってきた知識と経験を社会に役立てていただきたいものです。

こうしたことが、お年寄りの生きがいになると同時に、世代をこえた新しいコミュニケーションの場にもなるのではないでしょうか。

老人に生きがいのある社会を共に築いていきたいものです。

老人にとって生きがいとは、のけ者にされないこと、つまり自分は役に立つ存在であるという自信と、自分のことは自分でやれるという気負いが、日々お年寄りの心の張り、生きるバネになっているのです。

家庭では、お年寄りの役割分担をみんなで考えましょう。

お年寄りは自分の役割を通して、家族との接点をもち、生きがいを見いだしていくのです。

「何もしないでジッとしていればいいのよ」という言葉ぐらい、お年寄りにとって残酷な言葉はありません。

家庭でのそれぞれの役割分担を決め、みんなでお年寄りの生きがいづくりを進めていきたいものです。

数々の善意 ありがとうございます

社会福祉のために

◎北野の山岸市蔵さんから妻ツギさん（六月十九日没）のご冥福を祈られて社会福祉のために役立ててほしいと、金二万円のご寄付がありました。

◎和納八区の佐藤高蔵さんから、海上の遭難救助の賞金三千円を社会福祉のために役立ててほしいとご寄付がありました。

◎石瀬の金比羅様奉讃会より、金比羅様の賽銭二、四七二円を社会福祉のために役立ててほしいと、釧路市の高橋重昭さんより一万円を、また、東京都北区にお住まいの幸村節子さんより十万円のご寄付がありました。

いずれもご趣旨に添い有意義に活用させていただきます。

ありがとうございました。

広報編集のために

広報編集のために役立てて、金比羅様奉讃会長、本間八十太郎さんよりご寄付がありました。

人命救助で 佐藤さん親子に 感謝状

間瀬海水浴場でおぼれかかった人を発見、次々と海にとびこんで助けた和納八区の佐藤高蔵さん、正夫さん、高雄さん、親子三人に八月九日、巻警察署長から感謝状がおくられました。